

中国広州からの便りです。

広州日本人学校の生徒は増加傾向にあります。

特に、小学1, 2年生と言った低学年です。この現象は、中国出向の駐在員が若年化していることと考えられます。理由としては、人件費が安くて臨機応変に対応できる若年が求められていることです。

つまり、中国進出の日本企業では、足腰の軽い若い人と技術を持っているシニアの2極化となってきています。

一方、中国は従来の世界の工場国から大量消費国にチェンジして来ています。

既に、ベトナムその他で生産して中国で売っているのが目立ち始めました。

又、不動産規制が解かれ、販売が活発化してきています。